外国語（英語）科学習指導案

日　時　令和７年 11 月５日（水）
　　第５校時　14:00～14:50
学校名
対　象　第３学年　　組　　名
会　場　２階　　多目的教室
授業者

１　単元名

Unit 5 “My Dreams for the Future” *Here We Go! ENGLISH COURSE 3*　*（光村図書）*

２　単元の目標

17 の「持続可能な開発目標」（ＳＤＧｓ）のうち一つを選んでその目標達成をするための自分の考えを発表するために、グラフや写真を活用しながら簡単な語句や文を用いて口頭で発表することができる。

３　単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①　関係代名詞を用いた文の形、意味の文構造を理解している。 ②　17 のＳＤＧｓのうち一つを選んでその目標達成をするための自分の考えを発表するために、グラフや写真を活用しながら簡単な語句や文を用いて口頭で発表する技能を身に付けている。 ③　ＳＤＧｓに関する登場人物のプレゼンテーションや、アフリカの教育に関する記事を読み取る技能を身に付けている。	①　17 のＳＤＧｓのうち一つを選んでその目標達成をするための自分の考えを発表するために、グラフや写真を活用しながら簡単な語句や文を用いて口頭で発表している。	①　17 のＳＤＧｓのうち一つを選んでその目標達成をするための自分の考えを発表するために、グラフや写真を活用しながら簡単な語句や文を用いて口頭で発表しようとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第２章　第９節　外国語　第２　各言語の目標及び内容等　英語

１　目標　⑷　話すこと［発表］

ウ　社会的な話題に関して来たり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

また、同２　内容〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

エ　文、文構造及び文法事項
　(ｳ)　文法事項
　　a　代名詞
　　関係代名詞のうち、目的格の that、which の制限的用法

及び、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

イ　日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現すること。

さらに、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項
　オ　話すこと［発表］
　　(ｳ)　社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
②　言語の働きに関する事項
　イ　言語の働きの例
　　(ｴ)　考えや意図を伝える
　　・　意見を言う

を受けて、単元の最終段階では、17 の「持続可能な開発目標」（ＳＤＧｓ）のうち一つを選んでその目標の達成に向けた自分の考えを発表するために、グラフや写真を活用しながら簡単な語句や文を用いて口頭で発表することを単元の目標とした。

⑵　生徒観

本学級は１学級２展開の少人数学級編成となっている。令和６年７月 19 日実施の意識調査では「英語の授業の内容はどれくらい分かりますか」の問いに対して「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と答えた生徒は全体の 87%に上る。また、最終学年となり、学習意欲の高まりが感じられる。一方、豊島区学力調査（令和７年４月 30 日実施）の結果では、「聞くこと」の領域は区比＋2.5 ポイント（全国比＋8.3 ポイント）に対して「読むこと」の領域は区比－2.5 ポイント（全国比－0.9 ポイント）と低くなっている。

「話すこと〔発表〕」の学習では、第２学年において、防災意識を高めるために防災バッグの中身として必要なものや、観光大使になって自分がお勧めする場所を、理由と合わせて自分の考えを学級の仲間に伝えてきた。また、第３学年においては、平和学習の一環として世界平和の実現に向けて、できることを文化祭で発表するために学習した。しかし、まだ論理立てて話すことが苦手な生徒もいる。本単元では、ＳＤＧｓという「社会的話題」に関して調べたことを基にグラフや写真を用いて発表することを確認した上で、中間評価を通して新たな気付きを得ながら生徒の学びを深めていく。

⑶　教材観

本単元は、主人公がＳＤＧｓに関わるプレゼンテーションを通して課題を提示し、課題解決に向けて何ができるかを考える内容である。本学年では第１学年から総合的な学習の時間や、道徳科の時間においてＳＤＧｓ学習を深めてきた。ＳＤＧｓに関するプレゼンテーションの概要と要点を捉えることで、ＳＤＧｓの目標 17 個すべてが重要であることを再確認する。そして、各自が 17 個の目標から一つを選び、目標達成のためにできることを、グラフや写真を使用しながら簡単な語句や文も用いて発表する。

この単元を通して、最終的には以下のように概要と要点を読み取った上で、自身の考えを発表することを目指す。

＜概要と要点の例＞

Part１　（ＳＤＧｓ：１番「貧困をなくそう」）

Paragraph 1

Outline: Tina's Suggestion
Point: How about choosing fair trade products?

Paragraph 2

Outline: What is Fair Trade?
Point: If we choose fair trade products, farmers can earn enough money to live.

Paragraph 3

Outline: Fair and Sustainable System
Point: We can start to change the world by making smart choices.

Part 2（ＳＤＧｓ：１番「貧困をなくそう」）

Outline: The Reason for the Presentation
Point: Her work directly affects the lives of producers in distant countries.

Part 3（ＳＤＧｓ：３番「すべての人に健康と福祉を」）

Outline: An Eye-opener Experience for Kota
Point: I learned about life from the viewpoint of a person in a wheelchair.

Goal Activity　（ＳＤＧｓ：４番「質の高い教育をみんなに」）

Paragraph 1

Outline: Girls' Education in Africa
Point: Why don't many girls go to school?

Paragraph 2

Outline: Poverty in Africa
Point: Instead of going to school, many girls have to do housework or help with work.

Paragraph 3

Outline: Reality of Girls in Africa
Point: There are many girls who marry under the age of 18 in those countries.

Paragraph 4

Outline: Conclusion
Point: For that, we have to solve the problems of poverty and child marriage.

＜発表の例＞

Do you think boys and girls are equal in Japan? Today I will talk about gender quality. It is Goal 5 of SDGs. I got interested in this topic because my mother said she left her job when she had me.

Look at this graph which I found on the Internet. This shows the gender gap between woman and men. Did you know that Japan ranks 121st out of 153 countries? This is lower than China and India.

Why does this happen? We don't have many female leaders in Japan. Please look at the next graph. This shows the percentage of woman leaders in Japan. Japanese women leave their jobs when they get married and have babies like my mother.

I think all women should be able to stay in their jobs if they want to keep working, and we should support those women. For that, we have to change how we think of our mothers. Don't you think mothers should cook, clean and do the laundry? We have to change that idea. Men can do house work and AI technology such as cleaning robots can do house work. It is not easy to change our minds but we have to start from ourselves.

5　年間指導計画における位置付け

月	単元名	学習内容
4	Unit 1 Virtual Safari Tour	「読むこと」
5	Unit 2 Our School Trip	「話すこと［やり取り］」
6	Daily Life 1 計画を立てよう	「話すこと［やり取り］」
6 7	Unit 3 Lessons from Hiroshima	「話すこと［発表］」
7	Let's Read 1 Visas for 6,000 Lives	「読むこと」
9	You Can Do It! 学校生活について意見をまとめよう	「話すこと［やり取り］」
9	Unit 4 AI Technology and Language	「書くこと」
10	Let's Read 2 Living with Robots	「読むこと」
10	Unit 5 My Dream for the Future	「話すこと［発表］」
11	You Can Do It! 持続可能な社会に向けレポートしよう	「話すこと［発表］」
11	Unit 6 The Chorus Contest	「話すこと［やり取り］」
11	Unit 7 Tina's Speech	「読むこと」
12	Let's Read 3 Changing the World	「読むこと」

	World Tour 2 How Do We Live?	「聞くこと」
1	Unit 8 Goodbye, Tina	「書くこと」
2	You Can Do It! 3　3年間を締めくくる言葉を考えよう	「書くこと」
	Let's Read more 1 Elections in Norway	「読むこと」
3	Let's Read more 2 Fight for Equality	「読むこと」
通年	パフォーマンステスト	
	ペーパーテスト	

６　単元の指導計画と評価計画(8 時間扱い)

時	目標	学習内容・学習活動	評価規準 (評価方法)
第1時	オーラルイントロダクションを行った上で、Part 1 の内容を読み取り、本単元で目指すべき言語活動への見通しをもつ。	○　単元の導入 ・　スライドを用いて総合的な学習の時間や、道徳科でのＳＤＧｓ学習を振り返る。 ○　Part 1 の内容理解 ・　プレゼンテーションを読み、各自で概要と要点を捉える。 ・　個人で概要と要点を捉える。 ・　ペア及び全体で概要と要点を確認する。	ア－③（観察、ワークシート） ウ－①（観察、振り返りシート）
第2時	Part 2、Part 3 の内容を読み取り、それぞれの登場人物が挙げるＳＤＧｓについて考える。	○　Part 2 の内容理解 ・　登場人物のプレゼンテーションがＳＤＧｓのどれに当たるかを考える。 ○　Part 3 の内容理解 ・　個人で概要と要点を捉える。 ・　ペア及び全体で概要と要点を確認する。 ・　登場人物の対話がＳＤＧｓのどれに当たるかを考える。	ア－③（観察、ワークシート） ウ－①（観察、振り返りシート）

第3時	Goal の概要と要点を読み取る。	○　Goal の内容理解 ・　個人で概要と要点を捉える。 ・　４人グループで概要と要点を確認する。 ・　登場人物のプレゼンテーションがＳＤＧｓのどれに当たるかを考える。	ア－③（観察、ワークシート） ウ－①（振り返りシート）
第4時	プレゼンテーションの模範例を聞き、ＳＤＧｓから一つを選び、リサーチをする。	○　本単元の目標を理解する。 ・　卒業生の例を用いて模範を示し、自分が発表したいＳＤＧを一つ選ぶ。 ○　発表するＳＤＧについてリサーチする。 ・　リサーチを基にメモを作成する。	ウ－①（振り返りシート）
第5時	作成したメモを基にグループからプレゼンテーションのヒントをもらう。	○　グループで発表内容を共有する ・　メモを見せ合い、発表につながるヒントをもらう。 ○　再度リサーチを行う。 ・　グループで得たヒントをもとに再度リサーチを行う。 ・　スライド用にグラフや写真も準備する。	ア－②（観察、パフォーマンステスト） ウ－①（振り返りシート）
第6時	関係代名詞の文の形・意味を理解し、プレゼンテーションを英語で構成する。	○　関係代名詞の文法理解 ・　ワークシートを使って関係代名詞の文の形・意味を理解する。 ○　プレゼンテーションの構成を理解する。 ・　教科書及び卒業生の例示から、メモを基にプレゼンテーションを考える。	ア－①（ペーパーテスト） ア－②（観察、パフォーマンステスト）
第7時（本時）	プレゼンテーションをより良いものにする。	○　仮発表および中間評価 ・　グループで相互評価を行う。 ・　各班の代表を指名し、中間評価を行う。 ○　中間評価を基にプレゼンテーションを推敲する。	ア－②（観察、パフォーマンステスト） ウ－①（観察、振り返りシート）
第8時	ＳＤＧの達成に向けて自分ができることを発表する。	○　パフォーマンステスト ・　発表者は振り返りを記入する。 ・　聞き手は評価シートを記入する。	イ－①（パフォーマンステスト） ウ－①（パフォ

			ーマンステスト）

7　指導に当たって

ア　持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）から一つを選び、各自ができることについて発信しようとする「主体的な学び」を促す。

イ　ＳＤＧを解決するために各自ができることについて、それぞれの意見を共有する時間を設け、新たな考え方に気付けるようにすることで、「対話的な学び」につなげる。

ウ　中間評価を実行することで、自分と他者の考えを比較、再構築し、根拠をもって「自分にできること」を発信できるようにすることで「深い学び」を促す。

8　本時（全８時間中の第７時間目）

⑴　本時の目標

プレゼンテーションをより良いものにする。

⑵　本時の展開

時間	○　学習内容　・学習活動	指導上の留意点・配慮事項等	評価規準(評価方法)
導入 ５分	○　挨拶 目標：プレゼンテーションをより良いものにする。 ○　授業の雰囲気をつくる。 ・　曜日、日付、天気を確認する。	・　本時の目標を板書しておく。 ・　英語による指示で行う。	
展開 ① 40 分	○　仮発表 ・　４人一組グループで相互評価する。 ○　中間評価の実施 ・　指名生徒が前に出て発表する。 ・　良い点、改善点の意見を出し合い全体で共有する。 ○　内容の改善 ・　中間評価から気付きを得て、自分が考えた内容をよりよいも	・　パフォーマンステストの評価基準（表現、流れ、態度等）に沿ってアドバイスし合う。 ・　内容面、論理性で気付きを促す生徒をグループから最低１名指名する。 ・　グループでの相互評価や、代表生徒の発表からの気付きを価	アー② 17 のＳＤＧｓのうち一つを選んでその目標達成をするための自分の考えを発表するために、グラフや写真を活用しながら簡単な語句や文を用いて口頭で発表する技能を身に付けている。（観察、パフォーマンステスト） ウー① 17 のＳＤＧｓのうち一つを選んでその

	のにする。	値付けして、プレゼンテーションをより良いものにするための視点を確認する。	目標達成をするための自分の考えを発表するために、グラフや写真を活用しながら簡単な語句や文を用いて口頭で発表しようとしている。(観察、振り返りシート)
まとめ ５分	○　振り返り ・　振り返りを記入し、提出する。 ○　挨拶	・　振り返りの記入。	

⑶　板書計画

Unit Goal	◎　プレゼンテーションをより良いものする。	テレビ画面 ・代表の生徒のスライドを提示し、発表の時に使う。
Today's Menu		

⑷　授業観察の視点

ア　持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）から一つを選び、各自ができることについて発信しようとする「主体的な学び」が促されていたか。

イ　ＳＤＧを解決するために各自ができることについて、それぞれの意見を共有する時間を設け、新たな考え方に気付けるようにすることで、「対話的な学び」が促されていたか。

ウ　自分と他者の考えを比較、再構築し、根拠をもって「自分にできること」を発信できるようにすることで「深い学び」につながっていたか。